

油圧源の表示モニターについて

▶ 説明内容

油圧源の状態や、異常発生時の状態確認と復帰の手順

説明	油圧源は、振動試験装置の水平補助テーブルの一部や油圧軸受方式の加振機に使用されており、油を供給する役割があります。表示モニターで油圧源の状態や、異常発生時の状態確認と復帰の手順が確認でき、異常の際の発生原因を素早く特定することで、復旧までの時間が短縮される効果が期待できます。
対象シリーズ	iシリーズ / Jシリーズ / Kシリーズ / Aシリーズ / EMシリーズ



モニターはタッチパネルになっており感覚的に操作可能です。

● トップ画面

油圧源が起動するとオープニング画面となり、約6秒後にトップ画面に変わります。



オープニング画面

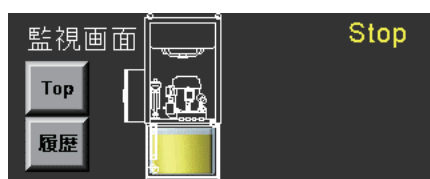


トップ画面

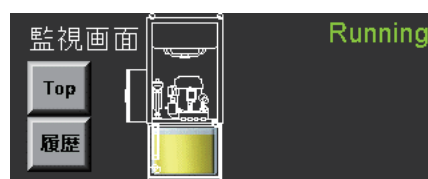
監視画面・・・装置の状態を確認できます。
 異常履歴・・・異常(エラー)が発生した履歴を確認できます。
 時刻・言語設定・・・時刻と言語を設定できます。
 メンテナンス・・・メンテナンス時に使用します。
 ※ お客様がメンテナンスを使用することはできません。

● 監視画面

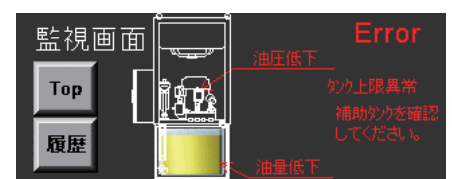
監視画面では以下の3つの状態を確認することができます。



停止状態



動作状態

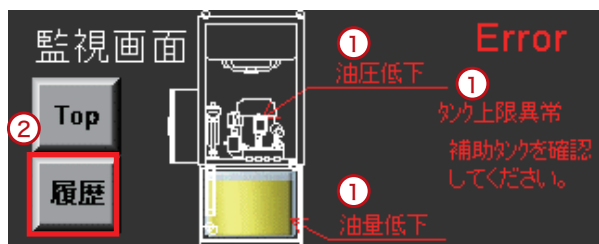


エラー発生状態

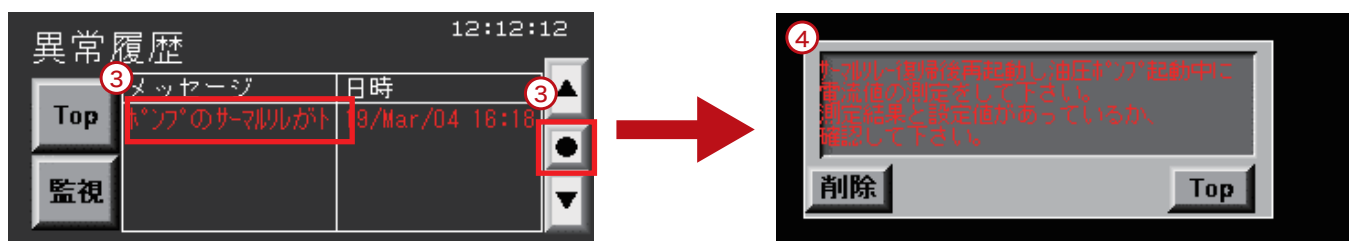


● 異常(エラー)発生時の復帰手順

- ① 異常が発生すると、監視画面に異常の発生個所が表示されます。(油圧低下 / 油量低下 / タンク上限異常)
- ② 履歴をタッチしてください。



- ③ 異常履歴が表示されますので、メッセージ欄の該当するメッセージをタッチし、横のスクロールバーの真ん中の黒丸をタッチしてください。
- ④ 異常の内容と復帰方法が表示されますので、それに従い確認してください。



異常内容	コメント	処置
油圧低下	油圧ポンプが動作しているか確認してください。また、油圧源又は加振機に油漏れがないか確認してください。	油圧が低下しています。コメントの内容をご確認いただき、IMV までご連絡ください。
油量低下	タンクの油量を確認してください。また、油圧源又は加振機に油漏れがないか確認してください。	油量が低下しています。コメントの内容をご確認いただき、IMV までご連絡ください。
タンク上限異常	リターンポンプが動作しているか確認してください。	水平補助テーブルの下にある補助タンク内の油量が規定値を超えています。コメント内容をご確認いただき、IMV までご連絡ください。
1次水圧低下 (水冷式の油圧源のみ)	1次水の圧力を確認してください。クーリングタワーの起動の確認とバルブの開閉状態を確認してください。	水冷方式の油圧源で1次水の水圧が低下しています。コメントの内容をご確認いただき、復旧しなければ IMV までご連絡ください。

● 時刻・言語設定

トップ画面で時刻・言語設定をタッチすると時刻と言語が設定できます。

※ 言語設定は英語か日本語を 2 秒間長押しで切り替わります。



解決しない場合、振動試験装置が故障している可能性があります。
 IMVサポートセンターもしくはHPお問合せフォームからご連絡ください。
 ✉ imv-sc@imv-corp.com 🌐 <https://we-are-imv.com/support/info/info-ment/>